

「元気が一番」塾

2008.1.19 仲島 正教

仲島正教の授業の考察～2年体育「くものすらんどで遊ぼう」より～ 1997.2の実践より 指導案と授業ビデオを見比べながら、教師や子どもの動きを考察する

1. 仲島正教がめざす体育の授業って？

- ・ クラスで一番厳しい状況の子（体育嫌いの子）が生き生きできる授業にしたい
そのための4つの条件
 - ・ 魅力ある環境づくり・・・「おもしろそう、やってみたい」
 - ・ 自分の発想が生かせる動きづくり・・・「ボクにもやれそうだ」
 - ・ 協力する仲間づくり・・・「仲間とできて楽しい」
 - ・ 思う存分できる時間の確保・・・「まだまだやりたい」
- ・ 夢中になって動いているうちに、知らない間に力がついていく授業（運動技能・技術の向上）
- ・ つまずきをとってやる授業ではなく、むしろつまずきやトラブルに出合わせ、それを仲間と共に解決していく授業（生き方を学ぶ）
- ・ これまでの体育で伝統的？に行われてきた一斉一律の技術注入指導からの脱却（指導法の改善）

2. 指導案を読んでみる

- ・ 指導案がスーと読めたか？ 児童観→教材観→指導観 が一本の筋になっているか？
- ・ どんな授業か想像できたか？
- ・ このクラスの実態、子どもの様子が目に浮かんでくるか？ あの子この子は誰？
- ・ なぜ「くものすらんど」なのか？ どんな力がつくのか？
- ・ 教師の子ども理解や、授業のねらいが明確になっているか？
- ・ あの子この子をどうやって生かそうとしているのか？ その指導の具体は？

3. ビデオを見てみる

- ・ 授業のイメージは、指導案と違ったか？ 4条件は満たされているか？
- ・ 子どもの表情はどうか？ 生き生きしているか？
- ・ 教師の指示はどんな感じで行われているか？
- ・ 教師の動きはどうか？ 何のためにどこへ動いているか？ あの子この子への意識は？
- ・ 活動は何分ぐらい続けて行われているか？ それはなぜ？
- ・ 集合した時、何を話しているのか。何分ぐらい教師が話をしているか？
- ・ この授業で、本当に運動の力がついているのか？
- ・ 子ども同士をどうつなごうとしているか？
- ・ 準備、後片づけの様子はどうか？ 仲間と共にしているか？ 男女は？ 時間は？

★ 元気塾2月例会 2008年2月16日（土）10:00～ 若竹公民館

テーマ 「学級で高めるセルフエスティーム～ライフスキルの実習～」(ゲスト講師)

★ 広島大学附属小学校「初等教育全国協議会」 2008年2月8日（金）9日（土）

シンポジウム「今、求められる教師力」（9日午後）

広島大学教授 樋口 聡 vs 元気塾主宰 仲島 正教